

MITSUBISHI

三菱DLP®プロジェクター
高位置設置金具

形名 BR-H7800

組立・設置説明書


取付適合DLP®プロジェクター
形名 LVP-HC7800D/DW (本体質量5.6kg)


販売店・工事店さま用

- 組立・設置工事を始める前に必ずこの説明書をお読みにになり、正しく安全に行ってください。
- 組立・設置工事は工事業者にご依頼ください。お客さま自身で組立・設置工事を行わないでください。
- 組立・設置工事は必ず付属品をご使用ください。指定以外のプロジェクター及び他の機器には使用できません。
- 高位置設置金具の本体総質量は3.3kgです。

安全のために必ずお守りください

- 組立・設置工事の前にこの「安全のために必ずお守りください」をお読みにになり、正しく安全に行ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 警告 誤った取扱いをしたときに死亡 や重傷などの重大な結果に結び つく可能性のあるもの	設置場所の強度が必ず安全率10以上になるように設置する 機器本体と高位置設置金具を合わせた総質量の10倍以上の強度の有る設置場所を選んでください。 強度の不十分なところに設置すると、高位置設置金具が落下しケガの原因となります。
	傾いた場所には設置しない 落下しケガや故障の原因となります。
	吸気口、排気口をふさがないように設置する 壁などのそばに設置する場合は、壁から50cm以上離してください。 吸気口、排気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となります。

 注意 誤った取扱いをしたときに傷害 または家屋や家財などの損害に 結びつくもの	設置はワイヤー等でゆれ止めの処置を行う 地震や震動で落下し、ケガの原因となります。
	火災報知器などの器具のないところに設置する 器具等の誤動作の原因となります。
	建物（構造物）に設置された高位置設置金具と、製品本体の電源アース間及び 接続機器の電源アース間に漏電がないことを確認する 漏電が発見された時は工事関係者あるいは、漏電している接続機器のメーカーに連 絡し改善を図ってください。
	お子様などがぶら下がったりしないように注意する ケガの原因となります。
	次のような場所に取付けない 高温（35℃以上）の場所や強い振動や衝撃の有る場所。
配線後の電源・信号ケーブルは誤って引っ掛からないよう固定する 吸気口、排気口をふさがないようにする。	

付属品

⚠ 注意 部品取付には付属の部品以外を使用しないこと。

次の部品を付属しています。組立・設置工事の前に確認してください。

番号	部品名	個数
①	台座金具	1
②	プロジェクター固定金具	1
③	固定金具	2
④	ナベ小ネジ (M4×10)	6

番号	部品名	個数
⑤	座金組込十字穴付小ネジ (M4×20)	4
⑥	平座金 (M4用)	4
⑦	スプリングワッシャ (M4用)	4
⑧	六角ナット (M4用)	4

組立と設置の手順

1. 設置位置を決める (1 参照)

1. 希望のスクリーンサイズが得られるように投写距離を決める。

- * 設置する台や棚の端から③固定金具の前側の取付穴までの寸法を140mm以下になるように設置します。140mmを超えると投写映像が欠ける場合があります。
- * プロジェクターの周囲から500mm以上の通気用スペースを確保してください。
- * プロジェクターの周囲を囲わないでください。熱がこもり故障の原因となります。

2. スクリーンに対してレンズが直角に向くようにする。

- * レンズセンターがスクリーンの横方向の中央にくるよう金具位置を決めてください。

1. 設置位置を決める

- 希望のスクリーンサイズが得られるように投写距離を決める。
- スクリーンに対してレンズが直角に向くようにする。
レンズセンターがスクリーンの中央にくるよう金具位置を決める。

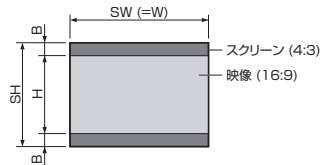
スクリーンサイズが16:9の場合

スクリーンサイズ (16:9) (形)	スクリーン		投写距離 L		Hd (cm)	レンズシフト高さ	
	幅 SW (cm)	高さ SH (cm)	最短 (m)	最長 (m)		H1 (cm)	H2 (cm)
50	111	62	1.5	2.3	21	9	8
60	133	75	1.8	2.7	25	11	9
70	155	87	2.1	3.2	29	12	11
80	177	100	2.4	3.6	34	14	12
90	199	112	2.7	4.1	38	16	14
100	221	125	3.1	4.6	42	18	16
110	244	137	3.4	5.0	46	20	17
120	266	149	3.7	5.5	50	21	19
150	332	187	4.6	6.9	63	27	23
200	443	249	6.2	9.2	84	36	31
250	553	311	7.7	-	105	45	39
300	664	374	9.3	-	126	54	47

● 表の中の数値は、アドバンスドメニューの「スクリーンサイズ」を「16:9」に設定した場合の例です。

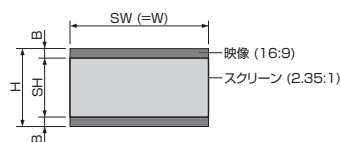
スクリーンサイズが4:3の場合

スクリーンサイズが4:3の場合、スクリーンと映像の寸法の関係は下記のようになります。

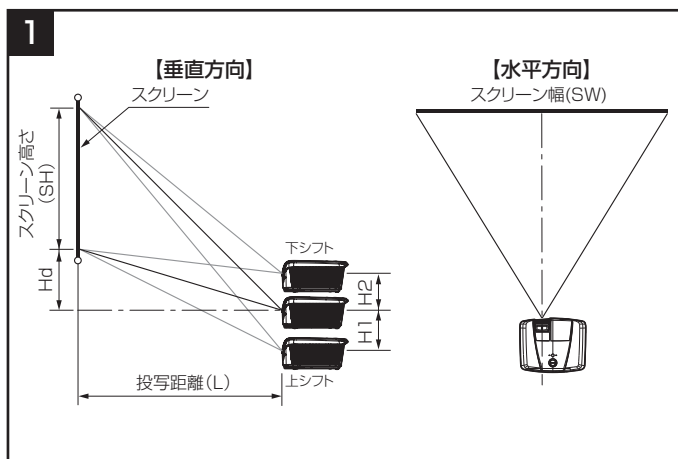


● 表の中の数値は、アドバンスドメニューの「スクリーンサイズ」を「16:9」に設定した場合の例です。

スクリーンサイズがシネマスコープサイズ (2.35:1) の場合

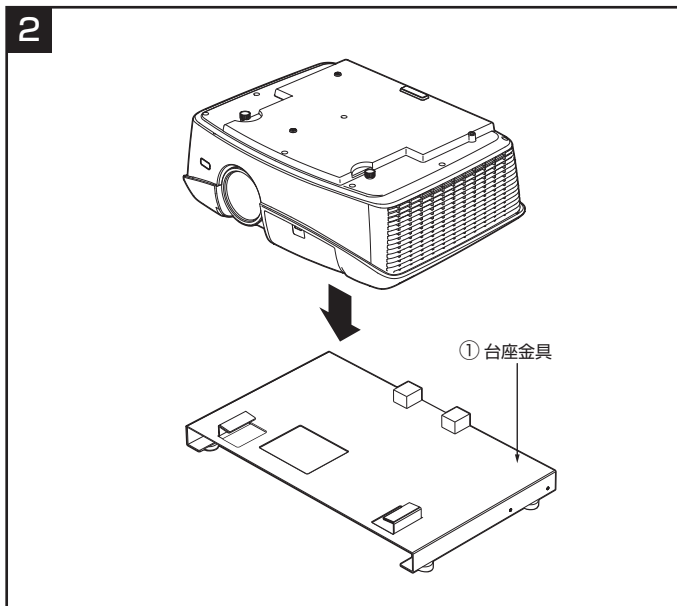


● 表の中の数値は、アドバンスドメニューの「スクリーンサイズ」を「CINEMA SCOPE (2.35:1)」に設定した場合の例です。



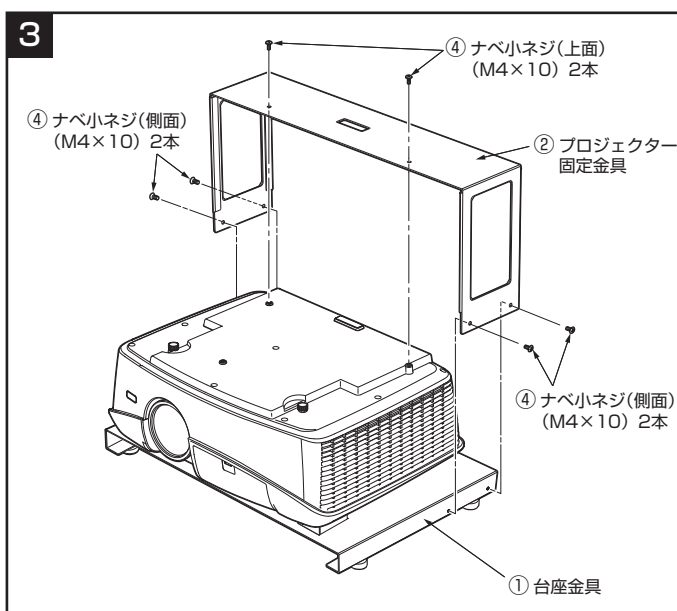
(注意)
上下方向で直角にならない場合は画面が台形になります。リモコンまたは本体ボタンの「台形補正」で修正することができます。

2. 台座金具に 프로젝터를のせる

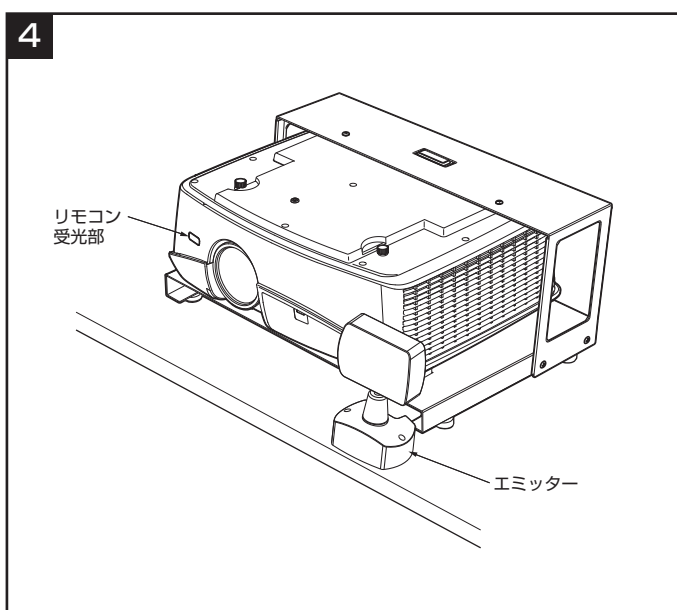


3. 프로젝터를固定する

1. ② 프로젝터固定金具を図のように置き、 프로젝터の後脚に合わせ、 ② 프로젝터固定金具と ① 台座金具の側面のネジ穴を合わせ、 ④ ナベ小ネジ (M4×10) 4本で仮止めします。
2. 프로젝터側のネジ穴と ② 프로젝터固定金具のネジ穴があっていることを確認し、 ② 프로젝터固定金具と 프로젝터를上面の ④ ナベ小ネジ (M4×10) 2本でネジ止めし、 仮止めしていた側面の ④ ナベ小ネジ (M4×10) 4本を確実に締め取付けてください。



4. 프로젝터の前方にエミッターを配置する



警告

エミッターを配置するときは、落下に気をつけてください。ケガの恐れがあります。



注意

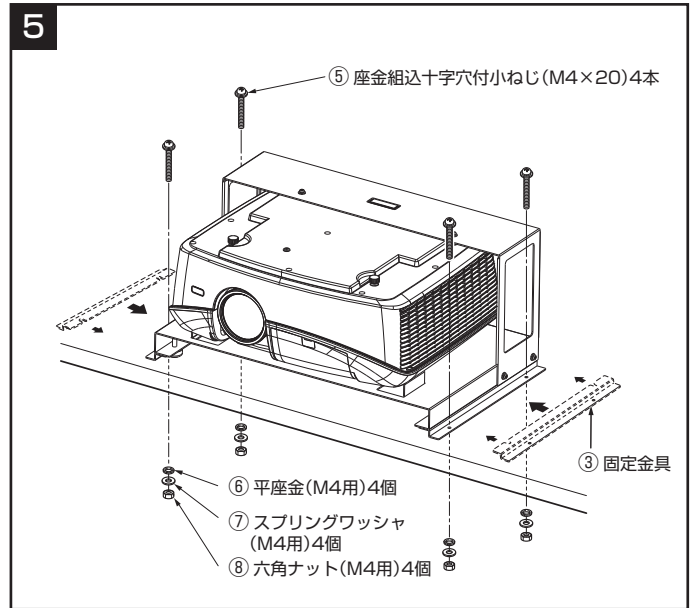
エミッターはリモコン受光部付近に配置しないでください。リモコン動作に不具合が発生する場合があります。

裏面に続く ▶

組立と設置の手順(つづき)

5. 固定金具を取付け、台に固定する

1. プロジェクターを設置位置に置いてください。
(2頁 1参照)
2. プロジェクターを投写し、設置位置を微調整します。
3. 位置が決定したら③固定金具をアジャスターの軸部に差込んでください。
4. ⑤座金組込十字穴付小ねじ (M4×20) 4本で固定してください。設置台に穴がない場合は、寸法図を参照して事前に穴を開けてください。
設置台の厚みが厚く同梱したねじの長さで固定できない場合は、適切な長さの市販のM4ねじ (スプリングワッシャ付) をご使用ください。



警告

設置場所の強度が必ず安全率10以上になるように設置する。
機器本体と高位置設置金具を合わせた総重量の10倍以上の強度の有る設置場所を選んでください。
強度の不十分なところに設置すると、プロジェクターや金具が落下しケガの原因となります。



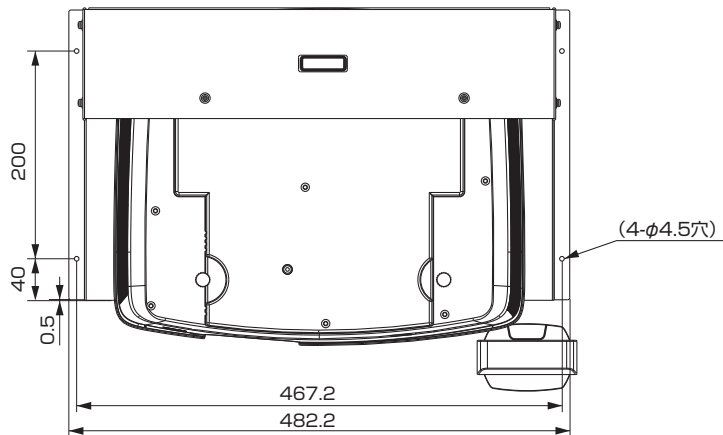
警告

固定金具は安全のため必ず取付けてください。
取付けないとプロジェクターや金具が地震や震動で落下しケガの原因となります。

寸法図

単位：mm

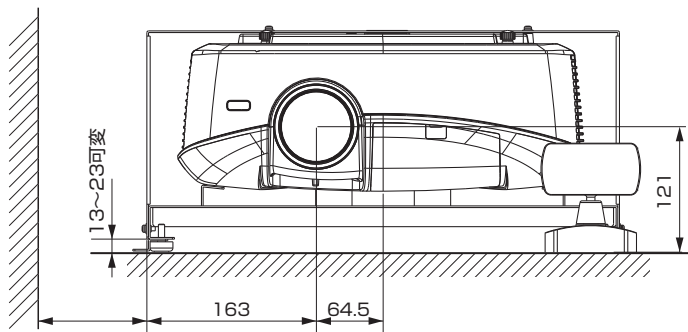
平面図



*アジャスターを上下することで傾き調整をすることができます。

- ・上下傾き ±3.5° 以内
- ・左右傾き ± 2° 以内

正面図



周囲に通気用スペース
500mm以上を確保してください。

側面図

